

環境配慮型製品の開発

環境配慮型製品には、自身の環境負荷発生量が少ない製品（例えば、省エネ型製品）と、周囲の環境負荷を低減する製品（例えば、廃棄物を減容する装置）があります。沖電気は、の環境負荷低減型製品についても開発を進め、地球環境保護に貢献します。

1. ITS（高度道路交通システム）の開発

VICS（道路交通情報通信システム）、ETC（ノンストップ自動料金収受システム）、AHS（走行支援システム）等のシステムを、『ITS』といいます。ITSは最先端の情報通信技術を利用し、人とクルマと道路を融合させた新しい社会システムで、環境の保全と安全性および快適性の向上が期待されます。

2000年4月には、ETCの試行運用が始まり、今後2003年までに全国の主要な料金所に配置される予定です。ETCの配備により、高速道路の渋滞が30%解消し、その結果、燃料消費量とCO₂排出量を削減することができます。沖電気は、2001年3月の運用開始に向け、ITSの開発を進めています。



ETCのテスト風景

2. 省エネ型LSIの開発

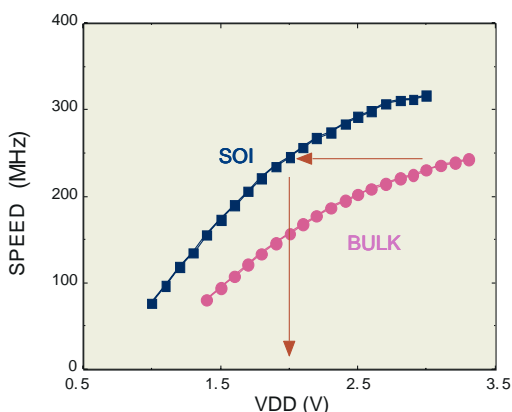
LSIは電気・電子製品をはじめ様々な製品に使用され「産業の米」と言われます。

そのため、LSIの消費電力を低減することは電気・電子製品などの消費電力低減に多大な効果を及ぼします。

沖電気では、性能（スピード）を維持しながら、低消費電力での動作を可能とするSOI技術によるLSIを商品化しています。

右図でスピードを一定としたときの従来品（BULK）とSOIの電圧比はおよそ1：1.75で、これを換算すると、SOIはBULKの1/3の消費電力で動作します。

SOI:Silicon on Insulator



LSIの動作スピードと電圧